



## 創刊「半世紀」を祝して

参議院事務総長

なかむら たけし  
中村 剛

本誌「立法と調査」が1964年（昭和39年）に創刊され、今年で50年目を迎えることとなりました。本誌は創刊以来、調査員全員参加による形で発刊されてきたものであり、本誌を休むことなく刊行し続けた調査室各位の熱意と努力にまずもって敬意を表します。

本誌創刊の契機は、調査員の資質の向上を図り、もって調査業務の能率を上げることを念願したものでありました。もとよりそれは、その時々々の政策課題を論文テーマに取り上げたり、時宜にかなった議案の解説や関連する資料の紹介を行うものであり、議員のニーズに直接応えるものでありました。さらに、それらの情報の提供は、とりもなおさず国会の動きや立法活動の具体的動勢を国民に知らせることにもなっていたのです。

現在本誌の編集方針として、政策立案活動、国政調査活動のより一層の充実・強化に貢献すべく、分析、評価、提言を含む創造的な論文の掲載に努めることが掲げられており、そういった努力を通じて、これまで以上に本誌の役割が高まることを期待いたします。

創刊「半世紀」を迎え、そのひとつひとつの誌面を辿ることは、その時々々の国会審議の焦点がどこにあったかを知ることにも繋がり、その意味で本誌は過去を知る歴史的な資料とも言えるものです。それにしても、「半世紀」も刊行が続いた基礎には「立法と調査」の論文ひとつひとつに、その時々々の調査員の「少しでも先を見ようとする心」と「少しでも向上しようとする心」があったのだと思います。未来を見ながら現在を理解しようとする心があればこそ、色褪せることなく進化し続けている今日の「立法と調査」があるのです。

現在、本誌はインターネット上で公開されております。世界中どこからでもその内容に触れることができるのです。未来と世界を見ながら進化し続ける本誌の行方を楽しみにしている者として、「半世紀」の節目に立ち合わせていただいた幸運に感謝いたしますとともに、調査室の益々の発展を祈念してお祝いの言葉とさせていただきます。